


# 橋本研究室の紹介 Hashimoto lab.

## 2015 年度の活動

橋本彼路子は、4月から来年の3月までドイツのドレスデン工科大学で客員教授として研究活動をしています。



**Hiroko Hashimoto**  
Gastprofessorin, National Institut of Technology, Oyama College,  
Japan

(ドレスデン工科大学での紹介ページです)

そのため、研究室のメンバーは専攻科2年の大橋龍二さんだけですが、ドイツと小山中で連絡を取り合って研究を進めています。

### ○メンバー 専攻科・・・大橋龍二（専攻科2年生）

研究テーマ：地域に根ざした保育・教育のあり方

子育て環境がどうあるべきか、統合保育を行う保育園でのヒアリング調査や行動観察調査を行っています。

## 過去の活動/2014 年度

### ○メンバー 専攻科・・・榎田彪佑（2年生）、大橋龍二（1年生）

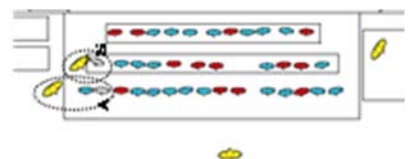
本 科・・・大出紗希、小沢悠梨、佐久間亮裕、寺田篤実（5年生）

### ○2014 年度 研究内容

#### 1. 「多様な子どもが暮らす統合保育のあり方」

小沢悠梨 卒業研究：多様な子どもが暮らす統合保育のあり方「あすなろ保育園」の保育内容・空間利用

空間の使い方など、統合保育のあり方について調査を行いました。



#### 2. 「教育機関における男女参画支援室と市民の認識に関する調査」

大出紗希 卒業研究：教育機関における男女参画支援室と市民の認識に関する調査  
-施設管理者ヒアリング調査と市民アンケート調査から-

#### WLBとは

ワークライフバランス  
work-life balance

一仕事と生活の調和



「誰か一人ひとりだけが忙しや充実感を得られる働き、仕事上の責任を果すことなどに、家庭や生活がなにもない状態、子育て期、中高生期といった人生の各段階に応じて多様な生活が実現・実現できる」とを指します。

近年、人生の各段階に応じて多様な生活が実現・実現できることが重要視されています。

#### アクセス



【建物名称】  
小山工業高等専門学校 建築学科  
〒123-0266 栃木県小山市中区山手 771

#### WLB 室



小山工業高等専門学校 建築学科

#### WLB 室完成までの過程

建築学科の応援により、女性学推進委員会が中心となり、高専教育機関の整備環境、女性学推進のあり方を議論し実現を行いました。



また、経費の削減は、5つの客員実習室を併設し、これまでの調査結果を踏まえて本学の学生が積極的に実習に即けることを目指して実現しました。

建築学科だからこそ、工学の力でデジタルファブレーションの社会貢献の場への活用が実現しました。

#### WLB 室の利用状況

WLB 室では、主に女性に重点を置き女性が安心して休養できる空間、交流の場を提供しました。現在は、曜日を設定して利用できます。



先月行われた建築学会で、本校の女性学推進の計画について発表したところ、企業でも女性学への関心が高まっていることが、重要な課題であるという意見をいただきました。

私たちは女性学推進やワークライフバランスについて今後も研究していくとともに、目標がワークライフバランスを実現するまでにはまだまだあります。

各大学の事例ヒアリング調査を行い、その上で文化祭やオープンキャンパスで来場者に説明し市民の意識アンケート調査をしました。（上図は市民の皆さんにお配りしたパンフレットです）

### 3. 精神障がいグループホームの住環境に関する研究

佐久間亮裕 卒業研究：精神障がいグループホームの住環境に関する研究  
 -関東圏内 10 施設のヒアリング調査及び実測調査-  
 櫟会 論文計画部門 1 位」受賞

精神障がいのスペシャリストの作業療法士の方々との共同研究です。  
 GH のヒアリング調査と実地調査による平面図の作成を行いました。

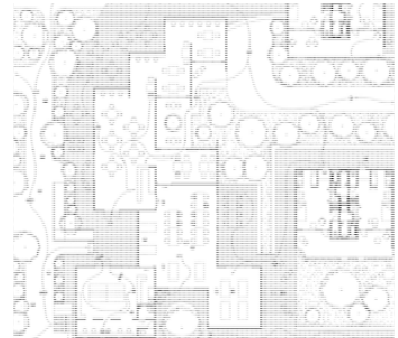


3階

### 4. 「Your place in the community」

寺田篤実 卒業設計：Your place in the community  
 -精神障がい者グループホームの設計-

精神障がい者グループホームのヒアリング調査と  
 実地調査を行った結果から GH の設計を行いました。



### 5. 「住環境整備を考慮した応急仮設住宅団地の基礎計画」

榎田彪佑 特別研究：住環境を考慮した応急仮設住宅団地の基礎計画  
 -栃木県小山市を対象としたケーススタディー-



栃木県小山市内 2 つの大規模公園を対象とした仮設住宅団地のケーススタディを基に計画の有効性を検証し、配置計画の  
 ポイントの整理を行いました。

\*橋本研では、自主的な活動や外部での積極的な活動を推奨しています。施設のボランティアやイベントに研究室での参加や、  
 乳児院でボランティア活動をしているメンバーもいます。2014 年度日本建築学会大会 (9 月) では、3 名の学生+橋本が研究発表  
 を行いました。(写真はその様子)



\*石塚佳孝 栃木コンソーシアム<2014. 12. 6>発表  
 題：「高等教育機関における女性支援室の空間整備と支援に関する研究」  
 「ハヤブサドットコム賞 (株)ハヤブサドットコム」受賞

# 過去の活動/2013 年度

○メンバー 専攻科・・・**榎田彪佑**（1年生）  
 本 科・・・**石塚佳孝**、**大橋龍二**、**国分芳樹**（5年生）

## ○2013 年度 研究内容

### 1. 「高等教育機関における女性支援室の空間整備と支援に関する研究」

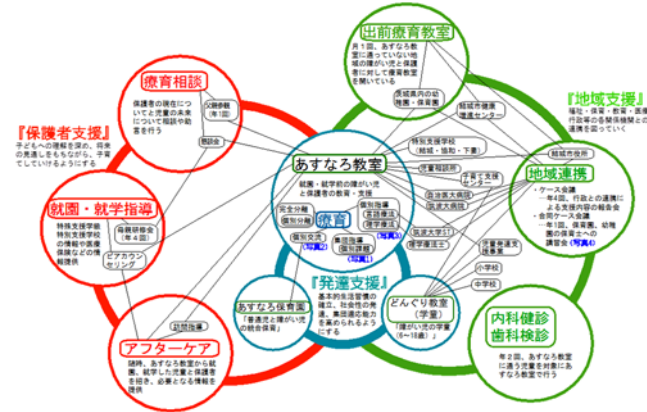
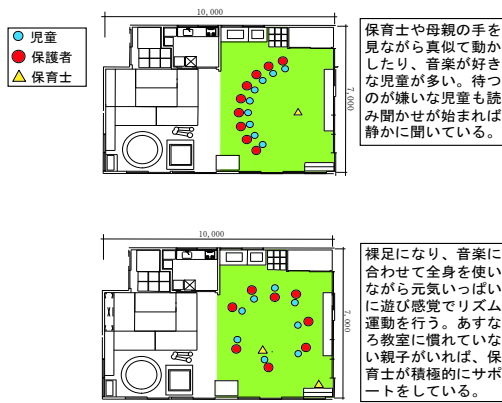
石塚佳孝 卒業研究：高等教育機関における女性支援室の空間整備と支援に関する研究  
 ー建築学科棟改修に伴う女性支援室計画の検討についてー



本学学生にアンケート調査、高等教育機関にヒアリング調査を行い、学生による家具の選定を行いました。

### 2. 「知的障がい児とその家族のための障がい児保育・教育施設のあり方」

大橋龍二 卒業研究：知的障がい児とその家族のための障がい児保育・教育施設のあり方「**機会 論文計画部門1位**」受賞



行動観察調査やヒアリング調査を行いながら、誰もが地域で暮らしていける支援、それに対して必要な建築計画について調査研究しました。

### 3. 「地域のセンター的役割を担うこども園の提案」

国分芳樹 卒業設計



### 4. 被災地域における高齢者・障がい者のニーズと仮設住宅地計画の提案

榎田彪佑 栃木コンソーシアム<2013. 12. 7>発表

題：「被災地域における高齢者・障がい者のニーズと仮設住宅地計画の提案」  
 おかげさまで創業百三十周年賞（藤井産業株）受賞





# 過去の活動/2012年度

○メンバー 本科…三田宗一郎、菅野岳人、南沙織（5年生）

## ○2012年度 研究内容

### 1. 被災地調査

菅野岳人 卒業研究：復興計画の土地利用に関する研究 -ケーススタディ- 陸前高田市

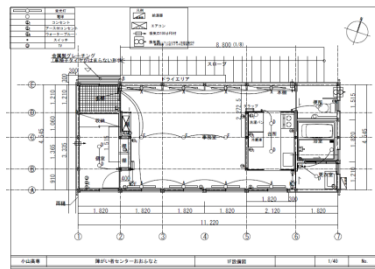
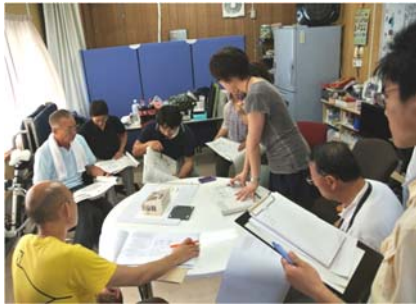


東日本大震災の被災地における人々の暮らし、特に高齢者や障がい者の暮らしを調査してきました。2012年7月28日-30日、教員・学生有志と被災地を訪れ、ヒアリング調査や障がい者との交流を行ないました。

### 2. 被災地復興支援

「被災地障がい者支援センター」の事務所建設の設計支援を行ないました。

三田宗一郎 卒業設計：障がい者センターおおふなと設計計画-実施設計に至る条件による変遷-



OFFICE IMAGE PERS.

### 3. 知的障がい者施設の住環境調査

南沙織 卒業研究：2012年度卒業研究 最優秀「創造性を育む卒業研究」受賞

「あすなる園」及び「太陽の里」に見る知的障がい施設のあり方-入居者とスタッフの動線による空間の使われ方-



## 橋本彼路子 Profile

国立高専機構 小山高専 教授  
ドレスデン工科大学 客員教授

博士 (工学)

1 級建築士/専攻建築士 (統括設計)  
福祉住環境コーディネーター 1 級  
APEC アーキテクト/APEC ARCHITECT  
インテリアコーディネーター

日本女子大学住居学科卒  
東京工業大学大学院修士課程修了  
日本大学大学院博士課程修了 (社会人入学)

社会活動：日本建築学会会員 高齢者・障害者等居住小委員会委員  
住まいづくり支援建築会議 情報事業部会委員  
建築人間工学 WG 委員  
日本福祉のまちづくり学会会員  
国際委員会委員  
オリンピック・パラリンピック委員会委員  
日本建築士会連合会誌「建築士」編集部会委員/東京建築士会会員  
日本建築家協会会員  
NPO 高齢社会の住まいをつくる会 (実務会員)  
インテリアプランナー資格試験 設計製図試験委員 (2001.4~07.3)  
(財)ベターリビング 住宅改修促進検討委員会委員 (2010.4~12.3)  
東京都固定資産評価審査委員 (2011.8~12.3)

受賞歴： 全国天然木合単板工業 (協) インテリアコンペティション優秀賞  
千葉市優秀建築賞  
住宅総合研究財団 「ハウスアダプテーションコンクール」優秀賞  
東京都住宅バリアフリー推進協議会  
「住まいのバリアフリーコンペティション」優秀賞

職歴： 清水建設(株)設計本部  
(株)ラファエル・ヴィニオリ建築士事務所  
一級建築士事務所 STUDIO3  
関東学院大学人間環境学部人間環境デザイン学科非常勤講師 (2003.4~13.3)  
日本女子大学家政学部住居学科非常勤講師 (2004.4~12.3)  
を経て、2012.4 より 国立高専機構 小山高専 教授

研究業績（過去5年の主なもの）：

2009年8月23日	肢体不自由児のための住環境整備に関する研究-その1 アンケート調査からみた生活実態と住環境の課題-	日本福祉のまちづくり学会 第12回全国大会梗概集, pp198-201	阪東美智子 野口 祐子 橋本彼路子
2009年8月23日	肢体不自由児のための住環境整備に関する研究-その2 ICF の生活機能モデルによる生活実態と住環境の把握-	日本福祉のまちづくり学会 第12回全国大会梗概集, pp202-205	橋本彼路子 野口 祐子 阪東美智子
2011年8月25日	重度心身障害児（者）が地域生活を継続するために、自発的に活動した保護者と地域住民のサポートについて —千葉市の事例における地域の関わりと活動の経緯—	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築 計画Ⅱ, p.371-372	橋本彼路子 定行まり子 牛木綾子
2012年9月12日	知的障害者施設の経緯及び家族と周辺地域との関係について —「太陽の里」にみる施設の経緯と空間の使われ方 (その1)—	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築 計画, p.479-480	橋本彼路子 定行まり子 福田裕子
2012年9月12日	知的障害者施設の経緯及び家族と周辺地域との関係について —「太陽の里」にみる施設の経緯と空間の使われ方 (その2)—	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築 計画, p.481-482	福田裕子 定行まり子 橋本彼路子
2012年9月13日	精神障がい者のための民間賃貸住宅の供給促進に関する 研究	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築 計画, p.1259-1260	袁輪裕子 橋本彼路子
2013年8月25日	応急仮設住宅団地の生活環境の整備 —東日本大震災の事例から検討する配置計画—	日本福祉のまちづくり学会 第16回全国大会梗概集	橋本彼路子 高橋儀平 狩野徹 櫛田彪佑
2013年8月26日	知的障がい者の施設計画と住環境の現状と課題—行動観 察（入居者と施設職員）による生活動線の把握とアンケ ート調査—	日本福祉のまちづくり学会 第16回全国大会梗概集	橋本彼路子 定行まり子 福田裕子 南沙織
2013年9月1日	被災地における高齢者・障がい者の生活 —設計支援からの課題と仮設団地への提案	日本建築学会大会建築計画部門パネルデ スカッション資料, 「日常へ—見えない 避難生活の現場から—」p.3-6	
2014年8月23日	精神障害者の住環境に関する研究 第2報 —グループ ホームへのアンケート調査—	日本福祉のまちづくり学会 第17回全国大会梗概集	池淵敏斗 牛木彩子 橋本彼路子 野村歡
2014年8月23日	ケア・サポート・子育てを考慮した仮設住宅地の計画 — 栃木県小山市のケーススタディを通して地域防災力向上 の視点から—	日本福祉のまちづくり学会 第17回全国大会梗概集	橋本彼路子 櫛田彪佑
2014年8月24日	知的・精神障がい児者施設の環境整備に関する研究/生 活の場・働く場・学びの場としての支援のあり方	日本福祉のまちづくり学会 第17回全国大会梗概集	橋本彼路子 定行まり子
2014年9月12日	知的障がい児とその家族のための障がい児保育・教育施 設のあり方	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築 計画, p.531-532	大橋龍二 橋本彼路子
2014年9月12日	高等教育機関における女性支援室の空間整備と支援に関 する研究 -本学学科棟改修に伴う女性支援室計画の検 討について-	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築 計画, p.825-826	石塚佳孝 橋本彼路子
2014年9月13日	東日本大震災の経験から考える地域防災力の向上 その1 —仮設住宅地の配置計画方法の確立—	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築 計画, p.689-690	橋本彼路子 櫛田彪佑
2014年9月13日	東日本大震災の経験から考える地域防災力の向上 その2 —栃木県小山市を対象とした仮設住宅地計画—	日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築 計画, p.691-692	櫛田彪佑 橋本彼路子